

JBBY

あしたの本だな

2



子どもや若い人と本との出会いをつなぐブックリスト

少しずつ本の面白さがわかってきた子どもや若い人たちに向けて、
②では、じっくり眺めて、読んで、新しい興味が湧いてくるような
本を、多様な分野から選びました。本棚に普通に並べてください。

<リストの説明>

- 本を読みやすさによってグループ分けし、同じグループのなかでは五十音順に配列しています。
- 絵本は幼児のためだけのものではなく、様々なテーマの入門書としても意味があります。また、絵をじっくりと見ることは、深く考えることにも役立つので、あえて収録しています。
- 巻末に「ジャンル索引」があります。

<凡例>

1. 記号は難易度： ◆ 読みやすい ◆◆ ふつう ◆◆◆ 読みごたえあり
2. 青字 は内容： 昔話 神話 詩 エッセイ フィクション ノンフィクション
3. 青字の右は、本のジャンル： 絵本 写真絵本 図鑑 詩集 マンガ 読物
4. * はキーワード
5. * は備考：本のシリーズ、続編等の関連情報など

JBBY

あしたの本だな

2



子どもや若い人と本との出会いをつなぐブックリスト

あなたこそ たからもの けんぽうのえほん

いとう まこと 文 | たるいし まこ え
大月書店 2015

個人の尊重、幸福追求権、立憲主義、疑わしきは罰せず、戦争放棄、表現の自由などの日本国憲法の基本理念が親しみやすい絵と平易な言葉で語られ、大人も子どもも理解しやすい。

＊ 憲法、基本的人権、個人の尊重
◆ ノンフィクション 絵本



「牛が消えた村」で種をまく「まδει」な村の仲間とともに

豊田 直巳 写真・文
農山漁村文化協会 2018

東日本大震災による原発事故で避難を余儀なくされた福島県飯舘村の人々。美しい村の再生を願って、放射能と向き合いながら種をまく人々の姿を真摯にとらえている。

＊ 放射能汚染、福島、農業
＊ 「それでも『ふるさと』シリーズ」の1冊。
◆ ノンフィクション 写真絵本



うちは精肉店

本橋 成一 写真と文
農山漁村文化協会 2013

代々続く精肉店での最後の屠畜を記録した白黒の写真と文章。ていねいに育てた牛を解体、精肉し、それを食する過程から、食べるとは命をいただくことという事実を伝えている。

＊ 生命、牛、食べ物
◆ ノンフィクション 写真絵本



絵物語 古事記

富安 陽子 文 | 山村 浩二 絵 | 三浦 佑之 監修
偕成社 2017

古事記上巻の国生みから海幸彦・山幸彦までの13編の神話を親しみやすい文と絵で綴る。愛し合い、いがみ合い、知恵を働かせ、苦難を乗り越える神々の姿が人間くさく描かれている。

＊ 古事記
◆ 神話 読物



彼の手は語りつぐ

パトリシア・ポラッコ 文と絵 | 千葉 茂樹 訳
あすなろ書房 2001

作者のひいひいおじいさんの南北戦争時の体験を描く作品。心に響く物語のかたちで、民族差別、戦争、識字、友情についてわかりやすく伝えている。(原作アメリカ)

＊ 南北戦争、子ども兵、差別、友情
◆ ノンフィクション 絵本



希望の牧場

森 絵都 作 | 吉田 尚令 絵
岩崎書店 2014

福島第一原発の事故後も警戒区域内に残り、放射能汚染で出荷できなくなった牛たちの世話を今日まで続けている牧場主の実話。牛と人の生きる営みの力強さが伝わる。

＊ 原発事故、東日本大震災、福島、牛、牧場
◆ ノンフィクション 絵本



しまぐれロボット

星 新一 作 | あらゐ けいいち 絵
KADOKAWA (角川つばさ文庫) 2014

時代を超えて読み継がれる、SFショートショート集。科学が進展しても、欲張りだったり、浅知恵だったりする人間の本质は変わらず、各話の結末の面白さは今も色あせない。

＊ SF、ショートショート、ユーモア
◆ フィクション 読物



金の鳥 ブルガリアのむかしばなし

八百板 洋子 文 | さかた きよこ 絵
BL出版 2018

王様の命令で金の鳥を探す旅に出た3人の王子のうち、途中出会った謎の老人に親切にした末の王子が試練を乗り越え、目的を達成するという東欧の昔話。牧歌的で絵も美しい。

＊ 王子、魔法、タブー
◆ 昔話 絵本



熊とにんげん

ライナー・チムニク 作・絵 | 上田 真而子 訳
徳間書店 2018

男とクマは互いを友とし、芸を見せながら旅をしていた。様々な人々と出会い、季節の移ろいにも喜びを感じていたが、男が死んでしまう。幸福とは何かを問いかける寓話的物語。(原作ドイツ)

- * 生き方、友だち、クマ
- ◆ [フィクション](#) 読物



ことわざ絵本

五味 太郎 著
岩崎書店 1986

右ページにはよく使われる 100 のことわざ、左にはそれをもじって、五味太郎が創作したことわざが並ぶ。その対比がとても面白く、ことわざの意味をより印象深く覚えらる。

- * ことわざ、ユーモア
- ◆ [フィクション](#) 絵本



サルってさいこう！

オーウェン・デイビー 作 | 越智 典子 訳 | 中川尚史 日本語版監修
偕成社 2017

生態、進化、区分、種類から環境問題まで、サルに関する科学的な知識を、軽妙な文体と美しいデザインで紹介している。様々な種類のサルが登場し、生物の多様さに驚かされる。(原作イギリス)

- * サル、進化、多様性
- ◆ [ノンフィクション](#) 絵本



鳥獣戯画を読みとく

五味 文彦 監修
岩崎書店 2017

日本の国宝「鳥獣戯画」。ウサギとカエルの相撲で有名な甲巻を中心に全4巻を紹介。道具や遊び、動植物、時代背景などをカラー写真とイラストでわかりやすく楽しく解説している。

- * 絵巻物、動物
- * 「調べる学習百科」シリーズの1冊。
- ◆ [ノンフィクション](#) 絵本



つちはんみょう

館野 鴻 作・絵
偕成社 2016

この甲虫は、ハナバチの仲間に寄生し、変わった生き方をする。8年もの間観察を続け、細密画で描いた力作。小さな命にも大きなドラマがあることがわかる。

- * 昆虫、自然
- ◆ [ノンフィクション](#) 絵本

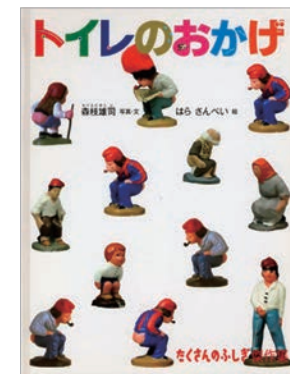


トイレのおかげ

森枝 雄司 写真・文 | はら さんぺい 絵
福音館書店 2007

古今東西のトイレのありかたを、写真とユーモラスな絵を使って紹介している。身近で少し恥ずかしい場所を通して、世界各地の文化や価値観の違いについて学べる点が面白い。

- * トイレ、排泄、歴史
- ◆ [ノンフィクション](#) 絵本



とべバッタ

田島 征三 作
偕成社 1988

びくびく暮らすのが嫌になったバッタが、思い切って日向に出る。そして天敵に襲われても必死でかわし、やがて羽を動かし、自分の力で自由を目指して高く高く飛んでいく。

- * バッタ、生存、自立
- ◆ [フィクション](#) 絵本



トリックアート図鑑 ふしぎ絵

グループ・コロンプス 構成・文 | 北岡 明佳 監修
あかね書房 2011

だまし絵とも言われるトリックアート。動いて見える絵、一見正しく見えるがつじつまが合わない絵、錯覚を起こさせる絵などの不思議な作品を紹介。意外性で楽しませ美術への関心を育む。

- * だまし絵、錯視、錯覚
- * 同じシリーズに「だまし絵」もある。
- ◆ [ノンフィクション](#) 絵本



ネットのルール 学校では教えてくれない大切なこと 12

関 和之 マンガ・イラスト
旺文社 2016

SNSのマナー、詐欺や違法ダウンロードなどインターネットの危険性、著作権や個人情報など、スマホやPCを使う際に知っておくべき内容をマンガでわかりやすく伝えている。

- * インターネット、SNS、スマートフォン、パソコン
- * 「学校では教えてくれない大切なこと」シリーズの1冊。
- ◆ ノンフィクション マンガ



のはらうた 1

工藤 直子 著
童話屋 1984

野原の住民のおしゃべりを、童話作家・詩人が書きとめた。「うさぎ ふたご」が春をうたい、「わたぐも まさる」が「うみ ひろみ」によびかける。虫や動物の個性が楽しめる詩集。ひらがなのリズムが面白い。

- * 野原、自然
- * 「のはらうた」シリーズの1冊。
- ◆ 詩 詩集



ひとりひとりのやさしさ

ジャクリン・ウッドソン 文 | E. B. ルイス 絵 | さくま ゆみこ 訳
BL出版 2013

ひとりの黒人の少女が、貧しい転校生をいじめ、その残酷さに気づき、自問自答しつつ変わっていく姿を通して、差別や排除がどれほど人を傷つけるのかについて考えさせてくれる。(原作アメリカ)

- * いじめ、差別
- ◆ フィクション 絵本



非武装地帯に春がくると

イ・オクベ 作 | おおたけ きよみ 訳
童心社 2011

朝鮮半島を分断する「非武装地帯」を見つめながら、老人はその向こうで別れて暮らす家族に思いを寄せる。自然のありのままの豊かな姿と、人間の政治の愚かさを対比させた作品。(原作韓国)

- * 戦争、平和、朝鮮半島
- * 「日・中・韓平和絵本」シリーズの1冊。
- ◆ フィクション 絵本



ふしぎなともだち

たじま ゆきひこ 作
くもん出版 2014

転校先の島の学校で、ぼくは自閉症の「やっくん」と出会い、予想外の行動にとまどう。でもその優しさに触れ、しだいに心でわかりあえるようになる。実在の人物をモデルにした作品。

- * 島、自閉症、友だち
- ◆ フィクション 絵本



ほうさんちゅう ちいさな ふしぎな生きものの かたち

松岡 篤 監修 | かんちく たかこ 文
アリス館 2019

放散虫は3mmもない小さな生き物で、5億年も前から海に棲んでいる。本書はその放散虫の骨格写真を拡大し、黒い背景に並べて紹介している作品。生物の多様性や生命の不思議を感じさせる。

- * 原生生物、生物多様性、骨格
- ◆ ノンフィクション 写真絵本



ホネホネたんけんたい

西澤 真樹子 監修・解説 | 大西 成明 しゃしん | 松田 素子 ぶん
アリス館 2008

様々な脊椎動物の骨格標本を写真で大きく見せて、なんの骨か読者に考えさせたあと、種の特徴をユーモラスに解説。著者は標本制作をしながら骨の秘密を子どもに伝える活動をしている。

- * 骨格、動物、進化
- ◆ ノンフィクション 写真絵本



魔術師アブドゥル・ガサツィの庭園

クリス・ヴァン・オールズバーグ 作 | 村上 春樹 訳
あすなろ書房 2005

モノクロで描かれた独特の絵で、読者も少年と一緒に魔術師の庭園に迷い込んだ気持ちになれる。物語に「だまされる」面白さと、不思議な後味が魅力の作品。(原作アメリカ)

- * 犬、魔法、庭
- ◆ フィクション 絵本



ミイラ学 エジプトのミイラ職人の秘密

タマラ・バウアー 著・絵 | こどもくらぶ 訳・編
今人舎 2019

エジプトのミイラ入門書。王家に繋がる人物の死後、ミイラ職人一家がどのようにミイラを作ったのか。葬儀の様子、死生観、風習を、古代エジプトの絵の様式を使って詳細に描いている。(原作アメリカ)

＊ 古代エジプト、ミイラ、職人
◆ ノンフィクション 絵本



やくそく

ニコラ・デイビス 文 | ローラ・カーリン 絵 | さくま ゆみこ 訳
BL出版 2014

灰色の町でスリをして生きてきた少女が、老女と出会って奇妙な約束をする。それをきっかけに心の風景が変わり、少女はすさんだ町のあちこちに、老女と約束したものを植え始める。(原作イギリス)

＊ 貧困、約束、つながり
◆ フィクション 絵本



みえるとか みえないとか

ヨシタケ シンスケ さく | 伊藤 亜紗 そうだん
アリス館 2018

宇宙飛行士のぼくはいろいろな星に行く。後ろにも目のある人の星では、前しか見えないなんて不便だろうと思われてしまう。ユーモラスにわかりやすく多様性についての理解をうながしている。

＊ 多様性、宇宙、障碍
＊ 底本は、伊藤亜紗著『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書 2015)。
◆ フィクション 絵本



耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ

ナンシー・チャーニン 文 | ジェズ・ツヤ 絵 | 斉藤 洋 訳
光村教育図書 2016

100年以上前に聴覚障害をもちながら野球選手になった実在の人物を描いている。彼は審判のジェスチャーや作戦のサインを考案し、ハンデを乗り越えて大リーグで活躍する。(原作アメリカ)

＊ 聴覚障害、野球、伝記
◆ ノンフィクション 絵本



森のおくから むかし、カナダであつた ほんとうのはなし

レベッカ・ボンド 作 | もりうち すみこ 訳
ゴブリン書房 2017

山火事のその日、様々な動物も人間も同じ湖に必死で逃げこんだ。自然の猛威を前にして、種の違いを超えて共に身をすくめていた祖父の実体験を、作者は描き出している。(原作アメリカ)

＊ 湖、山火事、動物
◆ フィクション 絵本



明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち

アラン・グラッツ 作 | さくま ゆみこ 訳
福音館書店 2019

第二次世界大戦下のドイツ、食糧危機の時のキューバ、内戦で破壊された現代のシリアから、それぞれ子どもたちが故郷を追われ難民となって新たな天地を目ざす。社会や歴史が身近に感じられる。(原作アメリカ)

＊ 難民、旅、新天地
◆◆ フィクション 読物



生きる リュウ リェン 劉 連仁の物語

森越 智子 作 | 谷口 広樹 イラスト
童心社 2015

戦時中、中国から日本へ強制連行された劉連仁は、炭鉱から逃亡し、北海道の自然のなかで13年間生き抜いた。人として生きることの意味と、日本の戦争責任を深く問い、読みごたえがある。

＊ 戦争、炭鉱、逃亡、強制労働
◆◆ ノンフィクション 読物



いじめ 心の中がのぞけたら 1 (漫画 明日が来る)

本山 理咲 著
朝日学生新聞社 2012

中学生新聞に投稿された実際の体験を短編マンガで再現。いじめられる辛さ、いじめる側の心情、クラスメイトの思いを知る。違う立場の人の思いに視野を広げることの大切さを伝える。

＊ いじめ、自殺、リストカット
＊ 「いじめ：心の中がのぞけたら」シリーズの1冊。
◆◆ フィクション マンガ



いま中学生とよみたい 101 の詩

木坂 涼、水内 喜久雄 編著
民衆社 1999

スガシカオの歌詞から島崎藤村の詩まで、読む楽しさが味わえるアンソロジー。ユーモラスな詩、リズムカルな詩、悲しい詩、元気が出る詩……様々な詩に出会える。

- * アンソロジー
- ◆◆ 詩 詩集



エンデュアランス号大漂流

エリザベス・コーディー・キメル 著 | 千葉 茂樹 訳
あすなろ書房 2000

シャクルトン率いる南極探検隊が乗った「エンデュアランス号」は流氷帯に閉じ込められて遭難する。非常に困難な状況下で乗組員を統率し、無事生還させるまでの探検家シャクルトンの実話。(原作アメリカ)

- * 南極探検、冒険、漂流
- ◆◆ ノンフィクション 読物



オオカミ王ロボ

アーネスト・T・シートン 文・絵 | 今泉 吉晴 訳・解説
童心社 2010

アメリカのニューメキシコを舞台に、家畜を襲うオオカミのリーダー・ロボと、ロボを仕留めようとする人間の戦いを描く。動物の生き方、人間と野生動物の関係、開発と自然保護についても考えさせられる。(原作アメリカ)

- * オオカミ、野生動物、自然保護
- * 「シートン動物記」の1冊。
- ◆◆ フィクション 読物



お金さえあればいい？

子どもと考える経済のはなし 大人は知らない・子どもは知りたい！

浜 矩子 著 | 高畠 純 絵
クレヨンハウス 2016

「お金はなんのためにあるのか」という子どもの素朴な疑問に、人との関係を築き、分かち合い、人を幸せにするのがお金の本質であり、本当の経済であると明解に答える。経済についてのわかりやすい解説書。

- * お金、経済、地域通貨
- ◆◆ ノンフィクション 読物



おしごと年鑑 2022

朝日新聞社 2022

身近な疑問に、その分野に関係する企業・団体が答え、仕事内容も紹介する。業種別に章立てし、120 近い企業・団体を掲載。好奇心と職業がつながるよう工夫されている。

- * 仕事、質問
- ◆◆ ノンフィクション 読物



かくれ家のアンネ・フランク

ヤニー・ファン・デル・モーレン 作 | 西村 由美 訳
岩波書店 (岩波少年文庫) 2019

アンネ・フランクの生涯の物語。彼女をとりまく人物や時代背景をていねいに描いており、知識がなくても理解しやすい。なによりアンネに共感できる内容となっている。(原作オランダ)

- * アンネ・フランク、ホロコースト、伝記
- ◆◆ ノンフィクション 読物



ガリヴァー旅行記 (ヴィジュアル版)

ジョナサン・スウィフト 原作 | マーティン・ジェンキンス 再話
クリス・リデル 絵 | 原田 範行 訳
岩波書店 2004

300 年近く読み継がれる名作をダイジェストした物語が、色鮮やかな絵と共に楽しめる。小人の国や馬の国の不思議な人々と交流したガリヴァーには故国イギリスのおかしなところが見えてくる。(原作イギリス)

- * 冒険
- ◆◆ フィクション 絵本



キバラカと魔法の馬 アフリカのふしぎばなし

さくま ゆみこ 編訳
岩波書店 (岩波少年文庫) 2019

アフリカ各地に伝わる民話から、ふしぎな精霊や魔神、魔法が出てくる話を集めたアンソロジー。巨人が巨大な怪獣を倒す話、太鼓をたたいて通る人を惑わす悪魔の話など全 13 話。

- * アフリカ、魔法
- ◆◆ 昔話 読物



希望の図書館

リサ・クライン・ランサム 作 | 杉浦 直美 訳
ポプラ社 2019

1946 年、主人公の少年は母親を亡くし、父親とシカゴへ引っ越す。生活は苦しく学校ではいじめにあうが、図書館での本との出会いをきっかけに、心のよりどころや居場所を見つけていく。(原作アメリカ)

＊ 図書館、名前、詩、いじめ
◆◆ [フィクション](#) 読物



ギリシア神話

石井 桃子 編・訳 | 富山 妙子 画
のら書店 2000

「プロメテウスの火」「パンドラ」「オデュセウスのぼうけん」など、ギリシア神話の中でも有名な物語を読みやすく美しい日本語で語っている。神話の魅力、物語の面白さを味わえる、全 24 話。

＊ 妖精、ギリシア
◆◆ [神話](#) 読物



紅のトキの空

ジル・ルイス 著 | さくま ゆみこ 訳
評論社 2016

スカーレットはヤングケアラー。精神を病む母親と、発達がゆっくりな弟と、3人で暮らしている。火事が起こり一家は離れ離れになるが、大ピンチに陥ると助けてくれる人も現れる。人と人とのつながりについて考えさせる作品。(原作イギリス)

＊ ヤングケアラー、里親、姉弟
◆◆ [フィクション](#) 読物



ケルトの白馬

ローズマリー・サトクリフ 作 | 灰島 かり 訳
ほるぷ出版 2000

イギリスの丘陵地帯アフィントンに残る巨大な白馬の地上絵。いったい誰が、なぜ描いたのか。古代ブリテンの地で、馬と共に生きた誇り高き部族の少年を主人公に、地上絵の謎に迫る歴史小説。(原作イギリス)

＊ 馬、ケルト民族、地上絵
◆◆ [フィクション](#) 読物



源平の風（白狐魔記 1）

齊藤 洋 作
偕成社 1996

仙人から人間に化ける術を学んだキツネが、様々な時代を体験する歴史ファンタジーの第 1 巻。兄に追われる源義経との出会いを描いて、人間同士が殺し合うことへの疑問が提示されている。

＊ キツネ、仙人、歴史ファンタジー、源義経
＊ 「白狐魔記」シリーズの1冊。
◆◆ [フィクション](#) 読物



コーヒー豆を追いかけて

地球が抱える問題が熱帯林で見えてくる

原田 一宏 著 | ながおか えつこ イラスト
くもん出版 2018

著者は、コーヒー豆が栽培される地域の森と農業や人々の暮らしを研究してきた。コーヒー豆の歴史や種類に加え、現地の森林破壊や貧困問題が私たちの日常に大いに関係していることを伝えている。

＊ コーヒー、熱帯林、環境、フェアトレード
◆◆ [ノンフィクション](#) 読物



故郷の味は海をこえて「難民」として日本に生きる

安田 菜津紀 著・写真
ポプラ社 2019

様々な国から日本に逃れてきた人々の思いが故郷の料理を通して紹介されており、難民の存在が身近に感じられる。日本の現状や課題についても解説があり、難民問題を学ぶのに好適。

＊ 難民、ふるさと、料理、入管
◆◆ [ノンフィクション](#) 読物



ゴジラ誕生物語

山口 理 著
文研出版 2013

核開発競争が活発化する戦後を背景に、平和への願いが込められた特撮映画『ゴジラ』。その制作過程を事実 に即して述べていく。監督、俳優、カメラマンほかスタッフの情熱が伝わる。

＊ ゴジラ、映画製作、特撮
◆◆ [ノンフィクション](#) 読物



こんぴら狗

今井 恭子 作 | いぬんこ 画
くもん出版 2017

犬が四国の金毘羅大権現へ代参する「こんぴら狗」。江戸時代に実際にあった風習だ。飼い主の病氣平癒のため、人々の手を借りながら金毘羅参りを果たし帰還する犬ムツキの健気な旅を描いた物語。

＊ 犬、江戸時代、旅
◆◆ **フィクション** 読物



精霊の守り人

上橋 菜穂子 作
偕成社 1996

女用心棒バルサは、精霊の卵を宿しているせいで命を狙われる皇子チャグムの護衛を引き受ける。国際アンデルセン賞作家が架空の古代王国を舞台にして描く壮大な冒険ファンタジー。

＊ ファンタジー、女用心棒、精霊、旅
＊ 「守り人」シリーズの1冊。
◆◆ **フィクション** 読物



戦場の秘密図書館 シリアに残された希望

マイク・トムソン 著 | 小国 綾子 編訳
文溪堂 2019

シリア内戦下のダラヤに若者たちが作った秘密図書館と、そこに集う人々の声をBBC特派員が伝えている。苦難のなかで人を支える本の力や読書の意味を考えさせられる。(原作イギリス)

＊ シリア内戦、移動図書館
◆◆ **ノンフィクション** 読物



先生、ウンチとれました 野生動物のウンチの中にある秘密

牛田 一成 著
さ・え・ら書房 2019

著者は、アフリカの絶滅危惧種の動物を守るため、ウンチを集めて腸内細菌の研究している。ウンチ採取の様子から、生態の謎に迫る方法までが、楽しくわかりやすく紹介されている。

＊ 野生動物、ウンチ、研究
◆◆ **ノンフィクション** 読物



となりのアブダラくん

黒川 裕子 作 | 宮尾 和孝 絵
講談社 2019

晴夜（ハルヤ）の小学校にパキスタンからイスラム教徒の少年がやってきた。文化や風習の違いに戸惑いながらも、晴夜とこの少年アブダラくんはお互いを認め合い、他者と違う自分を肯定できるようになる。

＊ 転校生、友だち、異文化理解
◆◆ **フィクション** 読物



ピース・ヴィレッジ

岩瀬 成子 著
偕成社 2011

米軍基地のある町に暮らす少女楓（かえで）は、友人の拒絶の言葉から、家族や周りの人々の過去と未来に思いを馳せるようになる。社会が見え始める思春期の揺れる心をていねいに描いた物語。

＊ 友だち、米軍基地、家族
◆◆ **フィクション** 読物



星の王子さま

サン＝テグジュペリ 作 | 河野 万里子 訳
新潮社（新潮文庫）2006

砂漠に不時着した飛行士は星の王子さまに出会う。王子さまは、旅してきた星のこと、愛するバラの花のこと、キツネやヘビから聞いた人生についての教えを飛行士に語る。1943年初版の古典。(原作フランス)

＊ 星、愛、友情
◆◆ **フィクション** 読物



ホビットの冒険 上・下

J. R. R. トールキン 作 | 瀬田 貞二 訳
岩波書店（岩波少年文庫）2000

ホビット族のビルボは、13人のドワーフ、魔法使いガンダルフとともに竜と戦い、宝を取り戻す。壮大なファンタジー『指輪物語』の前編ともいえる旅の仲間物語。(原作イギリス)

＊ 旅、ファンタジー、仲間、魔法
◆◆ **フィクション** 読物



まち 都会のトム & ソーヤ 1

はやみね かおる 著
講談社 2003

普通の中学生の内人(ナイト)と、コンピュータゲーム作りを目指す創也(ソウヤ)。そんなふたりに届く謎のゲームクリエイターからの挑戦状。謎を解き、知恵を使って危機を乗り切る冒険物語。

- * ゲームクリエイター、友だち、謎解き
- * 「都会のトム&ソーヤ」シリーズの1冊。
- ◆◆ **フィクション** 読物



まんが クラスメイトは外国人 入門編 はじめて学ぶ多文化共生

「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会 編 |
みなみ ななみ まんが
明石書店 2013

中学校を舞台に、様々な外国にルーツのあるクラスメイトたちとの交流を通して、異文化を学ぶ。また、差別や偏見について考え、互いに尊重し合うことの大切さを描く。

- * 異文化交流、外国人差別、友だち
- * 「まんが クラスメイトは外国人」シリーズの1冊。
- ◆◆ **フィクション** マンガ



モモ

ミヒヤエル・エンデ 作 | 大島 かおり 訳
岩波書店 1976

町はずれの廃墟に暮らす少女モモ。人々はモモに話を聴いてもらおうと幸せな気持ちになった。ところがある日、「時間泥棒」の男たちが現れる。本当の豊かさとは何かを問う、時代を超えた名作。(原作ドイツ)

- * 時間、ファンタジー、泥棒、コミュニティ
- ◆◆ **フィクション** 読物



漁師さんの森づくり 森は海の恋人

畠山 重篤 著 | カナヨ・スギヤマ 絵
講談社 2000

三陸で牡蠣の養殖を営む著者が立ち上げたNPO「森は海の恋人」は、森づくりや環境教育を行っている。海の豊かさは森に支えられていることを豊富なイラストとともにわかりやすく伝えている。

- * 森、海、養殖、環境
- ◆◆ **ノンフィクション** 読物



わたしがいどんだ戦い 1939 年

キンバリー・ブルバイカー・ブラッドリー 作 | 大作 道子 訳
評論社 2017

第二次世界大戦下のイギリスで、足に障害のある主人公エイダが、母親の虐待から逃れ、疎開先の村の人や里親との関わりのなかで、徐々に心の傷を克服していく姿を描いた物語。(原作アメリカ)

- * 戦争、障害、虐待、疎開
- * 続編に『わたしがいどんだ戦い 1940 年』がある。
- ◆◆ **フィクション** 読物



ワンダー

R. J. パラシオ 作 | 中井 はるの 訳
ほるぷ出版 2015

顔に障害のあるオーガストは10歳で初めて学校に通う。好奇の目で見られ、いじめにあいながらも、周りの人との関わりのなかで成長していく。その様子を本人や姉、同級生の視点から描いている。(原作アメリカ)

- * 障害、偏見、いじめ克服
- * 続編に『もうひとつのワンダー』がある。
- ◆◆ **フィクション** 読物



アルジャーノンに花束を 新版

ダニエル・キイス 著 | 小尾 芙佐 訳
早川書房 (ハヤカワ文庫) 1989

知的障害者のチャーリーは、手術を受け、高度な知力を獲得する。知能の低い少年を嘲笑する人々に、彼は叫ぶ。「たのむから、人格を尊重してやってくれ！」人の尊厳を伝える物語。(原作アメリカ)

- * 知的障害、差別、手術
- ◆◆◆ **フィクション** 読物



あん

ドリアン 助川 著
ポプラ社 (ポプラ文庫) 2013

罪を犯し、借金を抱え、生きる希望を失った男が、ハンセン病患者の女性にどら焼きのあん作りを教わる。辛苦のなかにも希望を見い出して生きた彼女の生涯に触れ、男は生きる意味を考え直す。

- * ハンセン病、命、どら焼き
- ◆◆◆ **フィクション** 読物



一瞬の風になれ 第1～3部

佐藤 多佳子 著
講談社 2009

サッカーのうまい兄と比較されてきた新二は、高校入学と同時にサッカーを辞め陸上部に入る。そこで出会った個性的な仲間たちと切磋琢磨しながらリレー競技に挑む青春小説。

＊ 陸上、リレー、友情
◆◆◆ **フィクション** 読物



凍てつく海のむこうに

ルータ・セペティス 作 | 野沢 佳織 訳
岩波書店 2017

第二次世界大戦末期、真冬のバルト海に多くの避難民が沈んだ海難事故を題材にした歴史小説。ソ連軍が迫るなか、心に闇を抱えながらも必死で逃避行する4人の若者の運命の糸が絡み合う。(原作アメリカ)

＊ 戦争、逃避行、恋愛、歴史
◆◆◆ **フィクション** 読物



命 手塚治虫からの伝言 (メッセージ) 4

手塚 治虫 著 | 中野 晴行 監修
童心社 2018

世の中が嫌になり、消えてしまいたいと思った青年の話など、手塚治虫の数ある作品の中から「生命の神秘」について描かれた6話を集めた傑作集。多様な角度から命の尊厳を説く。

＊ 命、短編集
＊ 「手塚治虫からの伝言」シリーズの1冊。
◆◆◆ **フィクション** マンガ



うたうとは 小さいのち ひろいあげ

村上 しい子 著
講談社 2015

いじめに遭い引きこもる綾美を、親友の桃子は、短歌のうた部に誘う。うた部のメンバーに励まされ、ふたりは自分の気持ちに向き合い、伝えたい言葉を短歌にする。友情再生の物語。

＊ いじめ、引きこもり、短歌、友情
＊ 続編『空はいまぼくらふたりを中心に』『青春は燃えるゴミではありません』
◆◆◆ **フィクション** 読物



かがみの孤城

辻村 深月 著
ポプラ社 2017

様々な理由で学校に行けない子どもたちが、3月30日まで存在する「城」を居場所として癒し合い、励まし合う。後半に明かされる謎解きに、人を信じ、生きる希望を感じさせる物語。

＊ 不登校、タイムスリップ、謎解き
◆◆◆ **フィクション** 読物



影との戦い (ゲド戦記 I)

アーシュラ・K. ル=グウィン 作 | 清水 真砂子 訳
岩波書店 1976

魔法の才能を認められたゲドは、禁じられた魔法を使って呼び出してしまった「影」に追いかけられるようになる。「影」と対峙することで自己を見つめ直し、成長する若者の姿を描く。(原作アメリカ)

＊ 魔法、自我、影、ファンタジー
＊ 「ゲド戦記」シリーズの1冊。
◆◆◆ **フィクション** 読物



カモメに飛ぶことを教えた猫

ルイス・セプルベダ 著 | 河野 万里子 訳
白水社 1998

ネコのザルバは、カモメが死ぬ前に産んだ卵を預かり、ひなに飛ぶことを教えると約束する。全力で挑戦することや、異なる者同士が心を通わすことの尊さを教えてくれる。(原作フランス)

＊ カモメ、ネコ、友情、環境汚染
◆◆◆ **フィクション** 読物



ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発

大塚 敦子 著
講談社 2018

八街少年院で2014年に始まったGMaCプログラムのルポ。少年たちが保護犬を訓練する過程で、信頼関係を構築し、忍耐や責任感を学び、成長していく姿が克明に描かれている。

＊ 少年院、保護犬、犬の訓練
◆◆◆ **ノンフィクション** 読物



キジムナー kids

上原 正三 著 | 山福 朱美 画
現代書館 2017

米軍統治下の沖縄に疎開先から帰還した少年と彼の家族を主軸とし、戦後の沖縄の姿を描いた自伝的物語。焦土と化した沖縄で、それでも少年たちはたくましく、希望を持って生き抜いていく。

＊ 沖縄、戦争、友だち、サバイバル
◆◆◆ [フィクション](#) 読物



きみの存在を意識する

梨屋 アリエ 作
ポプラ社 2019

難読症、過敏症、家族の問題など外からは見えにくい困難を抱える中学生たちの目線で書かれた連作物語。誰もが何らかの生きにくさを感じていること、まずはそれを知ることの大切さが伝わってくる。

＊ 発達障碍、難読症、過敏症、里親
◆◆◆ [フィクション](#) 読物



クラバート（改訂版）

オトフリート・プロイスラー 作 | ヘルベルト・ホルツィング 絵
中村 浩三 訳
偕成社 1986

孤児クラバートは不思議な夢に誘われて水車小屋で働くことになる。そこは親方が支配する魔法学校で、毎年誰かひとりが死ぬというルールがあった。愛を知り自由を希求する少年の成長を描く。（原作ドイツ）

＊ 仲間、魔法、変身、ファンタジー
◆◆◆ [フィクション](#) 読物



ケンタウロスのポロス

ロベルト・ピウミーニ 作 | 長野 徹 訳
岩波書店 2018

仲間 に 陥れられて 遠い 旅に出た ケンタウロス 族の ポロスは、数々の 冒険を経ながら、故郷への 帰還を めぐす。ギリシア 神話をもとに、物語の名手 ピウミーニ が想像力豊かに 書き上げた 作品。（原作 イタリア）

＊ ギリシア神話、ケンタウロス、冒険
◆◆◆ [フィクション](#) 読物



国宝の解剖図鑑 国宝を知れば日本の美術と歴史がわかる

佐藤 晃子 著
エクスナレッジ 2018

古墳の壁画から当時のファッションを推測し、千手観音の手は本当に千本あるのかを検証するなど、イラスト付きの国宝文化財の紹介で、日本美術や歴史、建築への興味を育む。

＊ 国宝、歴史、美術
＊ 「解剖図鑑」シリーズの1冊。
◆◆◆ [ノンフィクション](#) 図鑑



ゴースト

ジェイソン・レノルズ 作 | ないとう ふみこ 訳
小峰書店 2019

父に銃を向けられ、死に物狂いで逃げた経験のある少年は、早く走ることに自信がある。陸上チームの監督や仲間との出会いによって、貧しい境遇や自身の弱さに向き合う成長物語。（原作アメリカ）

＊ 陸上競技、貧困
◆◆◆ [フィクション](#) 読物

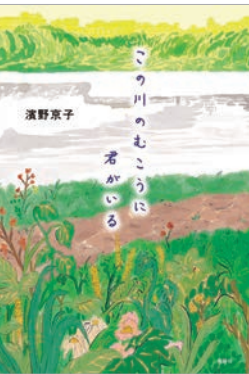


この川のむこうに君がいる

濱野 京子 作
理論社 2018

東京の高校で梨乃は、東日本大震災の被災体験を隠していた。吹奏楽部に入っ て、福島で被災したという遼と出会い、自分のことを語り始める。人と人が繋がることの意味が描かれている。

＊ 東日本大震災、吹奏楽部、友情、恋愛
◆◆◆ [フィクション](#) 読物



16歳の語り部

雁部 那由多、津田 穂乃果、相澤 朱音 語り部 | 佐藤 敏郎 案内役
ポプラ社 2016

東日本大震災当時、東松島市の小学校の5年生だった3人が、津波の体験を自分たちの言葉で伝えることの意義を感じて語り部となる。高校生の覚悟と葛藤、使命感が伝わってくる。

＊ 東日本大震災、体験、語り部
◆◆◆ [ノンフィクション](#) 読物



人生で大事なことは みんなゴリラから教わった

山極 寿一 著
家の光協会 2020

アフリカでゴリラの研究を行ってきた著者が、ゴリラの社会や、その研究の面白さを描く。ゴリラと人を比較しながら、人としてどう考え、どう生きるかを、わかりやすい言葉で語っている。

＊ ゴリラ、自然保護、生き方、アフリカ
◆◆◆ ノンフィクション 読物



新編 銀河鉄道の夜

宮沢 賢治 著
新潮社（新潮文庫）1992

父が不在でからかわれているジョバンニが、友だちのカムパネルラとともに銀河鉄道に乗って星空の旅をするファンタジー。描写が美しく、声に出して読んでも楽しめる。

＊ ファンタジー、列車、命、星空
◆◆◆ フィクション 読物



世界でいちばん素敵な雲の教室

荒木 健太郎 著
三才ブックス 2018

「雲ってなに?」「どうして白いの?」といった素朴な問いと簡単な答え、雲のしくみや美しい空との出会い方、天気を予想する方法など、空と雲に関する知識を豊富な写真とともに紹介している。

＊ 雲、空
＊ 「世界でいちばん素敵な教室」シリーズの1冊。
◆◆◆ ノンフィクション 読物



世界の果てのこどもたち

中脇 初枝 著
講談社（講談社文庫）2015

日本の占領下にあった満州（中国東北部）で出会った3人の少女の数奇な運命の物語。当時7歳だった3人は中国残留孤児、在日朝鮮人、戦災孤児となり、戦後も差別やいじめを経験しながら生きぬく。

＊ 戦争、中国残留孤児、差別、友情
◆◆◆ フィクション 読物



絶望を生きる哲学 池田晶子の言葉

池田 晶子 著 | NPO 法人わたくし、つまり Nobody 編
講談社 2017

生きる上で考えるべき92のテーマを平易な言葉で語った本。「不安の正体——思い込みを見抜く」「社会と現実——損か得かの問題なのか」「他人と自分——なぜ人に好かれたいのか」などを所収。

＊ 人生、哲学、疑問
◆◆◆ ノンフィクション 読物



そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森ノースウッズ

大竹 英洋 著
文藝春秋（文春文庫）2017

写真家として活躍する著者の原点の物語。22歳の著者は憧れの写真家に会うため、北米湖水地方（ノースウッズ）の奥地を目指して旅に出た。雄大な自然のなかで夢に突き進む若者の旅行記。

＊ 旅、写真、自然
◆◆◆ ノンフィクション 読物



ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年

リ ソングジュ、スーザン・マクレランド 著 | 野沢 佳織 訳
徳間書店 2019

飢饉のため一家離散となった北朝鮮の少年ソングジュは、路上生活を送る少年たちと仲間になり窃盗を繰り返す。死と隣り合わせの絶望的な日々の中で、生きる希望を持ち続けた少年の実話。（原作アメリカ）

＊ 北朝鮮、ストリートチルドレン、自伝
◆◆◆ ノンフィクション 読物

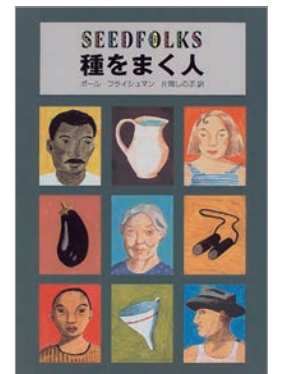


種をまく人

ポール・フライシュマン 著 | 片岡 しのぶ 訳
あすなろ書房 1998

アメリカのクリーブランドで、ひとりの少女が低所得者地区のゴミ捨て場に種をまいたことから、菜園ができ、人種も出身国も異なる人々が交流し始める様子を13人の視点から描く物語。（原作アメリカ）

＊ 空き地、貧民街、畑
◆◆◆ フィクション 読物



旅をする木

星野 道夫 著
文藝春秋（文春文庫）1999

アラスカの自然を撮影し続けた写真家のエッセイ集。厳しい自然に生きる動物たちの生と死、先住民や開拓民の様々な人生の物語をとおり、生きることの意味を深く静かに語りかけている。

＊ アラスカ、自然、写真家
◆◆◆ エッセイ 読物



鉄のしづきがはねる

まはら 三桃 著
講談社 2011

部活動のなかで旋盤を使ううちに、ものづくりの楽しさに目覚める女子高生が主人公。少女は職人だった祖父の思いにも気づき、さらに技術を磨いて、挑戦を続けたいと思う。

＊ 工業高校、旋盤、ものづくりコンテスト
◆◆◆ フィクション 読物



友だち幻想 人と人の<つながり>を考える

菅野 仁 著
筑摩書房（ちくまプリマー新書）2008

誰とでもわかりあえるというのは幻想であり、全ての人と仲良くするというのは無理であるという前提に立って、人とつきあうことや、友だちとは何かについて考える。著者は心理学者。

＊ 友だち、自分らしさ
◆◆◆ ノンフィクション 読物



トンネルの森 1945

角野 栄子 著
KADOKAWA 2015

継母や赤ん坊の弟と疎開した9歳のイコは、戦争に暮らしを奪われても楽しむことを忘れず、大人とは違う目で世界を見ている。国際アンデルセン賞受賞作家が自身の体験をもとに書いた作品。

＊ 戦争、疎開、森、家族
◆◆◆ フィクション 読物



西の魔女が死んだ

梨木 香歩 著
新潮社（新潮文庫）2001

学校へ行けなくなった中学生のまいは、英国人の祖母の許で暮らしながら「魔女修行」の手ほどきを受ける。傷ついた少女の心が再生し、自立する姿を誠実な言葉で紡いだひと夏の物語。

＊ 祖母、不登校、魔女
◆◆◆ フィクション 読物



裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち

上間 陽子 著
太田出版 2017

男たちの暴力から逃げて沖縄の夜の街で働く少女たちが、自分の居場所を作りあげていくまでの物語を、とことん少女たちに寄り添い、聞き取った記録。著者は、琉球大学教授。

＊ 沖縄、風俗、売春、暴力被害
◆◆◆ ノンフィクション 読物



はみだしインディアンのホントにホントの物語

シャーマン・アレクシー 著 | エレン・フォーニー 絵 | さくま ゆみこ 訳
小学館 2010

差別され、いじめられ、居場所のないアーノルドが、自分のおちつける場所、未来が描ける場所をさがそうとする。社会や貧困についても知ることができる北米先住民作家の自伝的小説。（原作アメリカ）

＊ 先住民、居場所、学校、差別
◆◆◆ フィクション 読物

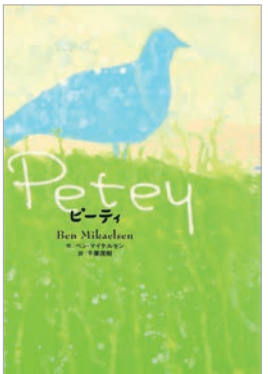


ピーティ

ベン・マイケルセン 作 | 千葉 茂樹 訳
鈴木出版 2016

障害者への差別が横行する時代、知的障害と誤解されたまま収容施設で長く過ごした重度脳性麻痺のピーティ。喜びや希望を失わずに生きた彼と友人たちの友情を通じ、人の尊厳を伝えている。（原作アメリカ）

＊ 障害、友情、尊厳
◆◆◆ フィクション 読物



ファニー 13歳の指揮官

ファニー・ベン＝アミ 著 | ガリラ・ロンフェデル・アミット 編
伏見 操 訳
岩波書店 2017

ナチスの迫害から逃れるためにスイスへ向かう子どもたち。その集団を率いることになった13歳のファニーは、次々と襲いかかる困難に、持てる知識を駆使して勇敢に立ち向かう。(原作フランス)

＊ ナチス、リーダー、旅、逃亡
◆◆◆ ノンフィクション 読物



フラダン

古内 一絵 作
小峰書店 2016

フラダンス愛好会に入部させられた男子高校生と仲間たちの、笑いあり涙ありの青春ドラマ。東日本大震災から5年後の福島の実のなか、葛藤しながら未来に向かう若者の姿を描いている。

＊ フラダンス、東日本大震災、原発事故
◆◆◆ フィクション 読物



フラミンゴボーイ

マイケル・モーパーゴ 作 | 杉田 七重 訳
小学館 2019

動物と話ができるロレンゾと、社会から排斥されてきた少数民族ケジアの物語。戦争、差別、障碍、動物保護など、様々なテーマを扱いながら面白く読ませる。(原作イギリス)

＊ 旅、差別、ナチス、障碍
◆◆◆ フィクション 読物



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディ みかこ 著
新潮社 2019

「元底辺中学校」に進学したぼくが直面した様々な個性と差別や格差。「多様性格差」が進むイギリス社会で、悩みながらもしなやかに生きる著者親子から、学校や社会について考えるきっかけをもらえる。

＊ 学校、差別、多文化共生社会
◆◆◆ ノンフィクション 読物



本当の貧困の話をして 未来を変える方程式

石井 光太 著
文藝春秋 2019

貧困が奪う自己肯定感に着目し、貧困の連鎖など現代日本の貧困の構造を様々な実例を挙げながら分析。いかにして貧困から脱出し、人生を輝かせることができるのかを語りかける。

＊ 貧困、格差、世界
◆◆◆ ノンフィクション 読物



真夜中の電話 ウェストール短編集

ロバート・ウェストール 作 | 原田 勝 訳
徳間書店 2014

英国を代表する作家による9つの短編集。クリスマスイブに幽霊から電話がかかる「真夜中の電話」、墓守が幽霊と語る「墓守の夜」など、恋愛、幽霊、友情をテーマにした珠玉の物語。(原作イギリス)

＊ 幽霊、恋愛、謎解き、戦争
＊ 短編集『遠い日の呼び声』も出ている。
◆◆◆ フィクション 読物



むこう岸

安田 夏菜 著
講談社 2018

エリート中学を落ちこぼれた和真（かずま）は転校先でヤングケアラーの樹希と出会う。樹希（いつき）は、和真にナイジェリア人の父を持つアベルの勉強を見ることを依頼し、3人の間に友情が芽生える。

＊ 貧困、偏見、友情、勉強
◆◆◆ フィクション 読物



虫ぎらいはなおるかな？ 昆虫の達人に教えるを乞う

金井 真紀 文と絵
理論社 2019

虫が怖い著者がその怖さを克服できるかもしれないと思い、昆虫学者、虫のオブジェを作る美術家、「こわい」を研究している認知科学者らにインタビューし、人と虫の多様な関係を知る。

＊ 昆虫、好き／嫌い、インタビュー
＊ 「世界をカエル 10代からの羅針盤」シリーズの1冊。
◆◆◆ ノンフィクション 読物



めんそーれ！ 化学 おばあと学んだ理科授業

盛口 満 著
岩波書店（岩波ジュニア新書）2018

戦争で学校に行けなかったおばあたちが通う沖縄の夜間中学。そこで行った実験中心の化学の授業を、イラストを多用して再現。料理も洗濯も化学。知る楽しさ、学ぶ喜びがここにある。

＊ 化学、実験、夜間中学
◆◆◆ ノンフィクション 読物



悠久の時を旅する（新版）

星野 道夫 著
クレヴィス 2020

極北に暮らすイヌイットの人々や大自然に生きる動物たちを愛おしんだ写真家のエッセイや写真をまとめた本。氷原のホッキョクグマ、カリブーの大移動、ワタリガラスのトーテムポールなど、印象に残る場面も多い。

＊ アラスカ、クマ、イヌイット
◆◆◆ ノンフィクション 読物



レ・ミゼラブル 上・下

ヴィクトル・ユゴー 作 | G. ブリヨンほか 画 | 清水 正和 編・訳
福音館書店 1996

19世紀初頭のフランスを背景に、貧困にあえぐ庶民の姿と、ひとりの司祭との出会いから罪を悔い、良心と愛に生きた男の生涯を描いた物語。当時のフランスを描く挿絵も魅力的。（原作フランス）

＊ 貧困、犯罪、孤児
◆◆◆ フィクション 読物



路上のストライカー

マイケル・ウィリアムズ 作 | さくま ゆみこ 訳
岩波書店 2013

南部アフリカを舞台にした物語。家族を殺されたデオは障害のある兄を連れ、命をかけた逃亡を始める。ハードな状況だが、サッカーの場面も随所にあり、未来への希望がもてる。（原作南アフリカ）

＊ アフリカ、逃亡、旅、サッカー
◆◆◆ フィクション 読物



ジャンル索引

絵本

あなたこそたからもの	2
ガリヴァー旅行記	11
彼の手は語り継ぐ	3
希望の牧場	3
金の鳥	3
ことわざ絵本	4
サルってさいこう！	4
鳥獣戯画を読みとく	4
つちはんみよう	5
トイレのおかげ	5
とべパッタ	5
トリックアート図鑑	5
ひとりひとりのやさしさ	6
非武装地帯に春がくると	6
ふしぎなともだち	7
魔術師	
アブドゥル・ガサツィの庭園	7
ミイラ学	8
みえるとかみえないとか	8
耳の聞こえないメジャーリーガー	
ウィリアム・ホイ	8
森のおくから	8
やくそく	9

写真絵本

「牛が消えた村」で種をまく	2
うちは精肉店	2
ほうさんちゅう	7
ホネホネたんけんたい	7

図鑑

国宝の解剖図鑑	21
---------------	----

詩集

いま中学生とよみたい 101 の詩	10
のはらうた 1	6

マンガ

いじめ	9
命 手塚治虫からの伝言	18
ネットのルール	6
まんがクラスメイトは外国人	16

読物

明日をさがす旅	9
アルジャーノンに花束を	17
あん	17
生きる	9
一瞬の風になれ	18
凍てつく海のむこうに	18
うたうとはちいさないのち	
ひろいあげ	18
絵物語 古事記	2
エンデュアランス号大漂流	10
オオカミ王ロボ	10
お金さえあればいい？	10
おしごと年鑑 2022	11
かがみの孤城	19
かくれ家のアンネ・フランク	11
影との戦い	19
カモメに飛ぶことを教えた猫	19
ギヴ・ミー・ア・チャンス	19
キジムナー kids	20
キバラカと魔法の馬	11
希望の図書館	12
きまぐれロボット	3
きみの存在を意識する	20
ギリシア神話	12
熊とにんげん	4
クラブート	20
紅のトキの空	12
ケルトの白馬	12
ケンタウロスポロス	20
源平の風	13
ゴースト	21
コービー豆を追いかけて	13
故郷の味は海をこえて	13
ゴジラ誕生物語	13
この川のむこうに君がいる	21
こんぴら狗	14
16 歳の語り部	21
人生で大事なことは	
みんなゴリラから教わった	22

新編 銀河鉄道の夜	22
精霊の守り人	14
世界でいちばん素敵な雲の教室	22
世界の果てのこどもたち	22
絶望を生きる哲学	23
戦場の秘密図書館	14
先生、ウンチとれました	14
そして、ぼくは旅に出た。	23
ソングジュの見た星	23
種をまく人	23
旅をする木	24
鉄のしぶきがはねる	24
となりのアブダラクun	15
友だち幻想	24
トンネルの森 1945	24
西の魔女が死んだ	25
裸足で逃げる	25
はみだしインディアン	
ホントにホントの物語	25
ピース・ヴィレッジ	15
ピーティ	25
ファニー	26
フラダン	26
フラミンゴボーイ	26
ぼくはイエローでホワイトで、	
ちょっとブルー	26
本当の貧困の話しよう	27
星の王子さま	15
ホビットの冒険	15
都会（まち）のトム & ソーヤ	16
真夜中の電話	27
むこう岸	27
虫ざらいはなおるかな？	27
めんそーれ！ 化学	28
モモ	16
悠久の時を旅する	28
漁師さんの森づくり	16
レ・ミゼラブル	28
路上のストライカー	28
わたしがいどんだ戦い 1939 年	17
ワンダー	17

あしたの本だな ②

発行日：2022 年 12 月
発行人：さくまゆみこ
企画・制作：JBBY 希望プロジェクト
協力：イオンリテール株式会社

日本国際児童図書評議会（JBBY）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F
TEL 03-6273-7703 <https://jbbby.org/>

